

第9回苫小牧市中小企業振興審議会要旨

- 1 日時 平成29年2月22日(水) 13:30～14:50
- 2 場所 南庁舎9階 93会議室
- 3 出席
 - (1) 苫小牧市中小企業振興審議会委員
秋山委員、岩佐委員、上木委員、川島委員、小玉委員、坂本委員、竹谷委員、伴辺委員、中條委員、丸山委員、渡辺委員
 - (2) 事務局(市)
佐藤副市長
産業振興室：望月室長、企業立地推進室：桜田室長
商業振興課：河本課長、由利主査、銅主査、五十嵐主事
工業労政課：加賀谷課長、能代主査、廣川主事、佐藤(尚)主事

4 会議次第

※以下、「▽」は発言者、「▼」は回答者、「○」は発言若しくは回答内容

(1) 開会

▽佐藤副市長

○挨拶

▽会長

○開会宣言

(2) 議事

【第2期苫小牧市中小企業振興審議会報告書(案)について】

▽事務局

○資料1の「苫小牧市中小企業振興審議会報告書(案)」の構成や記述の流れ等全体像について説明。

▽部会長

○資料1の「苫小牧市中小企業振興審議会報告書(案)」のうち、創業促進部会の議論内容について説明。

▽会長

○資料1の「苫小牧市中小企業振興審議会報告書(案)」のうち、人材育成・事業承継部会の議論内容について説明。

▽部会長

○資料1の「苫小牧市中小企業振興審議会報告書(案)」の販路拡大・需要開拓部会の議論内容について説明。

【質疑】

▽委員

○シンプルにまとまっていると思う。

▽委員

○提案書として非常に良いのでは。

第9回苫小牧市中小企業振興審議会要旨

▽委員

○報告書とは別に作成している部会のまとめを別紙として提出したほうが良いのでは。

▼事務局

○報告書は大きな方向性を報告するという形で受け止めて欲しい。まとめは第3期の引継ぎで使用する。

▽委員

○意見としてまとまっている。具体的にこれが発展していくと良い。

▽委員

○細かくまとまっていて、次につながられる内容となっている。

▽委員

○報告書はこの案のままで良い。大きい中小企業施策は国や道であるので、中小零細に届くような苫小牧市独自の施策につながると良い。

▽委員

○簡潔にまとまっている。

▽委員

○コンパクトにまとまっている。詳細については部会のまとめがあるので報告書はこれで十分。

○人材育成・事業承継部会の議論の中で、後継者がいない企業への後継者のマッチングのようなものがあつたと思うが無くなったのか。

▼会長

○自分が事業を展開できない場合の事業承継方法で、コンペ方式にて提案をしてもらい事業を譲渡していくという方法は有効な手段の一つとして議論したが、他市の状況や事例を含めて考える必要があるとなったと思う。

▼事務局

○コンペ方式については、一応議論の中に含めたが、事業自体をどうするかまでは今回の部会で詰めることができなかったのが、第3期に引き継ぐ。

▽事務局

○国の創業・第二創業補助金が来年度は、創業・事業承継補助金になる可能性がある。国も事業承継を重要な課題と認識しているのかもしれない。

▽事務局

○市長へ報告書を提出するまでの流れを説明。修正案を3月1日までに送付。最終確認期限は3月17日。4月19日に正副会長が市長へ報告書を提出。

(3) その他

【委員より一言】

▽委員

○2年間ありがとうございました。

第9回苫小牧市中小企業振興審議会要旨

▽委員

○2年間議論を深め苫小牧市は非常に良い市だと感じた。今後審議会委員を外れてもバックアップしていきたい。

▽委員

○条例策定前から関わってきた。春から起業を予定しており、色々気付くことや学ぶことが多かった。

▽委員

○主婦の目線で苫小牧を見るということしかしなかったが、中小企業の悩みや喜びがわかり非常に勉強になった。

▽委員

○非常に前進感があり、一つのアウトプットもでてきてよかった。しかし、もっとスピード感をもって欲しい。平成30年度から一つでも二つでもこの内容を踏まえた施策がでてくることを期待する。

▽委員

○中小企業が業種を問わず厳しい状況におかれていると感じた。報告書ができてそれで終わりではない。いつ計画が実行されるのかと感じた。

▽委員

○今回の議論結果が活かされているとわかる状態になる日を期待して待っている。自分も事業承継を考えているので勉強になった。

▽委員

○面白いと思ってもらえる意見がだせるよう考えた。中小企業は規模に関係なく同じ施策を利用することになる。今後継続して議論していく中で、スピード感の話ももちろんだが、施策ができて終わりではない。時代に即した中小企業が使いやすい施策となっていくと良い。

▽委員

○部会等でも随分議論を重ねた。スピード感の話もあったが、形だけの審議会にならずに済んだと思う。会員に市民の責務を伝えていきたい。

▽委員

○今回の部会での議論を振興計画にしっかり反映させ、すぐ実行できれば良いと思う。また、こうした対策を打つ場合手伝っていかねばならない立場なので一緒にやっていければと思う。

▽会長

○今後、中小企業振興計画という形でスピード感のあるような施策ができるかどうか。計画や予算等様々な要素を上に乗せ、中小企業が苫小牧で活躍できて良かったと思えるような実績作りが第3期に向けた大きな流れになる。こうした中で、中小企業から様々な声をもっともらい、できるものをドンドンやっていくようなスタンスで第3期審議会が組織運営されることを期待する。

(4) 閉会